

## 会議記録（1）

会議名称	平成21年度 第4回北本市地域公共交通活性化協議会	
開会及び閉会日時	平成21年11月5日（木） 午前10時00分から午前11時30分	
開催場所	北本市文化センター 第3研修室	
議長氏名	副市長 山島 則義	
出席委員職氏名	1号委員 山島 則義 2号委員 梶原 薫、長谷川 洋司 3号委員 鶴岡 洋、中島 茂男 4号委員 高荷 正春、堀越 一三、 川村 洋二、渡辺 浩幸、堀部 雅澄 5号委員 池田 豊（代理人出席） 6号委員 井上 修 7号委員 吉野 敏雄、櫻井 文夫（代理人出席）、 久世 高之	
欠席委員職氏名	永淵 元彦	
事務局職員職氏名	政策推進課長 吉野 一 政策推進課 主幹 三橋 浩範 株式会社 長大 早川 裕史、澤部 純浩	
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 北本市地域公共交通総合連携計画策定におけるテスト運行業務委託概要（報告） (2) 地域公共交通活性化・再生総合事業の実施状況調査及びヒアリングについて（報告） (3) デマンドバス利用状況について（報告） (4) 北本市デマンドバステスト運行計画について 4 そ の 他 5 閉 会	
配布資料	○第4回北本市地域公共交通活性化協議会次第 ○北本市地域公共交通総合連携計画策定におけるテスト運行業務委託概要 ○連携計画策定調査事業の実施状況等確認調査票 ○当日予約の実施について ○北本市デマンドバステスト運行計画(案) ○北本市デマンドバスに関するアンケート調査 ○今後のスケジュールについて ○平成21年度北本市地域公共交通活性化協議会委員名簿	

発言者	発言内容・決定事項
<p>事務局</p> <p>副市長</p> <p>議長</p> <p>川村委員</p> <p>事務局</p> <p>川村委員</p> <p>事務局</p> <p>高荷委員</p> <p>事務局</p>	<p>司会進行 事務局（政策推進課長）吉野 一</p> <p>1 開会 新委員紹介 4号委員 北本市まちづくり観光協会 （旧）白石 春彦 （新）渡辺 浩幸</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題  (1) 北本市地域公共交通総合連携計画策定におけるテスト運行業務委託概要（報告）</p> <p>事務局より資料（北本市地域公共交通総合連携計画策定におけるテスト運行業務委託概要（報告））の説明を行い、了承を得た。</p> <p>(2) 地域公共交通活性化・再生総合事業の実施状況調査及びヒアリングについて（報告）</p> <p>事務局より資料（地域公共交通活性化・再生総合事業の実施状況調査及びヒアリングについて共通乗降場について（報告））の説明を行う。</p> <p>「連携計画」の「連携」とは何と何が連携するものか。</p> <p>各公共交通機関がお互いに連携し地域が一丸となって公共交通の活性化を目指すものである。</p> <p>「認定申請」とは、何に対する認定のことを指すのか。</p> <p>デマンドバスを含む来年度以降の公共交通事業に対する補助金認定のための申請である。</p> <p>(3) デマンドバス利用状況について（報告）</p> <p>利用者から、「帰りの便の利用の際に病院や店舗等の大型施設では乗り場がどこか分からない」との声を耳にしている。目印等を設置することはできないのか。</p> <p>指摘の通り、分かりにくい場所もあると思われるが、予め乗降</p>

発言者	発言内容・決定事項
堀部委員	<p>場所は決められており運転手からも降車の際に「ここが乗り場になります」等のアナウンスは行っている。但し、今後もより広く周知させる必要はあると考えている</p> <p>運賃設定について、現状は利用者からは安いという意見を多く聞くが、来年度以降の運行でも現状より高い運賃設定は難しいと思われる。一方で、デマンドバスを持続させるためには運賃収入を確保する必要があり、利用者を増やす必要がある。現状ではまだデマンドバスのことを知らない市民も多いと思われるため、今後の利用促進のためには広報活動にも工夫が必要であると思われる。例えば、運行車両に拡声器を設置して放送を流すことや、イメージキャラクターを作ること考えられる。</p>
事務局	<p>運賃設定については、現状は当協議会の承認を得て設定しているが、今後実施するアンケート調査でも運賃に関する設問を設けており、その結果を踏まえて再度検討する必要があると考えている。デマンドバスの周知については事務局としても最大の課題と認識している。最も効果的な方法は利用者からの口コミによるものと考えており、今後も精力的に行っていく予定である。なお、イメージキャラクターや名称の決定等については来年度以降の実証運行の際に実施する予定である。</p>
堀部委員	<p>運賃設定（6歳未満の小児は無料、小学生は半額）等についても、バスのステッカーとして貼ることも有効な広報活動と思われる。</p>
事務局	<p>今後検討させて頂く。</p>
川村委員	<p>これまでの運行の中で、迎えに行っても利用者がいなかったようなケースはあるのか。</p>
事務局	<p>運行開始当初は、登録された待ち合わせ場所と利用者が認識している場所に若干不一致があり何件かそのようなケースがあったが、最近ではないと聞いている。</p>
川村委員	<p>資料3のP8にある「予約到着時刻と実到着時刻の差分」とは、待ち合わせ時刻のことか、それとも目的地への到着時刻のことか。</p>
事務局	<p>目的地への到着時刻のことである。</p>

発言者	発言内容・決定事項
堀部委員	資料3のP5にある年齢別利用者数に「10歳以上20歳未満」とあるが、小学生以下の子供の利用はどの程度あるのか。高齢者層以外にも幅広い年齢層の利用実態を把握し広報活動を行うことも必要と考える。
事務局	ご指摘の通り、塾へ通う小学生の送迎に関するニーズもあり、今後さらに詳細に分析を行う。
梶原委員	利用登録者数と人口の関係はどのようになっているのか。
事務局	65歳以上の高齢者については、人口に対し利用者登録者数は5.2%程度であり、今後も更なる広報が必要と考えている。  (4) 北本市デマンドバステスト運行計画について 以下の協議により、12月からの当日予約の実施について了承を得た。
長谷川委員	当日予約の実施はタクシー業界にとって非常に影響が大きいと考えている。このままではタクシーの位置付け、存在意義が分からなくなってくるため、タクシー事業者の本音としては当日予約はやめてもらいたい。
堀部委員	タクシーとデマンドバスを融合できる仕組みが望ましいと考えられるため、今後タクシー事業の一環としてデマンドバスの運行を行えないか。例えば、タクシー運賃が高齢者は300円、小学生以下は半額など。
事務局	当協議会では、北本市にあった公共交通のあり方を検討するものであり、既存のタクシーやバスとの役割、棲み分けを十分に考慮して検討を進めていきたい。このことから、今回の当日予約の実施は、あくまでテスト運行の位置付けであり、当日予約を含めデマンドバスの運行による他の交通機関への影響を分析した上で来年度以降の運行を検討していく。このためにも、デマンドバスの運行前後におけるタクシー、バスの利用者状況の推移に関する資料を提供して頂きたい。
議長	関東運輸局で把握されている他地域の事例はどのようなものか。
池田委員 (代理)	事例は数多くあるが、何れも地域毎に異なるため、一概に北本市に当てはめることはできない。

発言者	発言内容・決定事項
鶴岡委員	<p>確かに地域の特性により、公共交通のあり方は異なるものであり、今後の連携計画を策定する上では都市計画の一環として公共交通を考えるべきである。</p>
堀部委員	<p>既存のバス、タクシーも含め共存を前提とした連携計画を検討する必要がある。</p> <p>4 その他 北本市デマンドバステスト運行計画(案) 北本市デマンドバスに関するアンケート調査 今後のスケジュールについて について説明する。</p>
川村委員	<p>1月以降の運行を可能にするための条件（利用者数等）はあるのか。</p>
事務局	<p>今回のテスト運行は国の補助金事業として実施しているものであり、テスト運行の評価や国への提出書類の作成等には最低でも2,3ヵ月要するため、1月～3月の運行は予定していない。但し、来年度4月以降はできる限り早く運行を再開できるようにしたいと考えている。</p>
川村委員	<p>1月～3月をタクシー事業者に運行してもらうことはできないのか。</p>
事務局	<p>現在タクシー事業者各社は、市の事業者登録を行っていないため今年度は市から業務を委託することが出来ない。</p>
長谷川委員	<p>タクシー事業者がデマンド運行をするためには乗合の事業申請が必要になるため、そのための必要期間を考慮すると1月からの運行は難しい。</p>
中島委員	<p>当日予約については、12月の1ヶ月間の実績によっては来年度以降も継続されるのか。タクシー事業者（協会）としてはタクシー乗務員の生活保護を第一に考える必要があり、市としてはどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>協議会にテスト運行の結果を報告し、この場で承認を得た上で来年度以降の方向性を決めていきたい。</p> <p>5 閉会</p>

発言者	発言内容・決定事項	署名
	<p>（第）調情活動にてそのハイペースな市本並        五階イーでくてもす間コスハイペースな市本並        づのこのハイペースな市本並        るす間づのこの</p>	<p>員委調情        員委補給        員委計川        員委津        員委津        員委津        員委津</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。</p> <p>平成 21 年 11 月 10 日 会長 <b>山島則義</b></p>		